

松江市 報道機関配布資料

令和 8 年 9 月 15 日

件名 企画展「没後 130 年～西田千太郎へ 出雲時代のなつかしいおもいでに～」オープニング式典について（取材依頼）

内容 別紙のとおり、小泉八雲記念館より取材依頼がありました。
広報、取材につきましてご協力方お願いいたします。

【開催概要】 ※詳細は添付をご確認ください。

名称 : 「没後 130 年～西田千太郎へ 出雲時代のなつかしいおもいでに～」オープニング式典

開催日 : 令和 8 年 9 月 25 日（金）午前 9 時 30 分より

開催場所：小泉八雲記念館 多目的スペース、展示室 3

【問い合わせ】

小泉八雲記念館

担当：指定管理者 一社）八雲会 錦織 裕司 電話：0852-21-2147
（文化スポーツ部文化振興課 担当：小松原 電話：0852-55-5513）

2026/09/11

報道各社

小泉八雲記念館
館長 小 泉 凡

企画展「没後 130 年～西田千太郎へ 出雲時代のなつかしいおもいでに～」
オープニング式典の開催（取材依頼）

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび小泉八雲記念館では、企画展「没後 130 年 ～西田千太郎へ 出雲時代のなつかしいおもいでに～」を開催する運びとなりました。

ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）が心から信頼し慕った友、西田千太郎。NHK 連続テレビ小説「ばけげん」でヘブンの友人錦織友一のモデルとして注目された西田千太郎とは、どんな人物だったのでしょうか。

本企画展では、友人からは「大磐石」と呼ばれ、わずか 34 年の短い生涯を駆け抜けた千太郎の素顔に迫ります。

つきましては、オープニング式典を下記のとおり行いますので、ぜひ取材にお越しくださいますようご案内申し上げます。

記

○オープニング式典

日時：令和 8 年 9 月 25 日（金） 午前 9 時 30 分より
（午前 9 時より受付開始）

会場：小泉八雲記念館 多目的スペース、展示室 3
（松江市奥谷町 322）

企画展概要：別添企画展チラシをご参照ください。

以上

《問い合わせ先》

小泉八雲記念館指定管理者
一社）八雲会 錦織 裕司
八雲会事務局：[TEL:0852-67-2012](tel:0852-67-2012)
記念館：0852-21-2147
Mobile：080-3882-5281（錦織）
Email: museum@yakumokai.org
Website: <https://www.hearn-museum-matsue.jp>

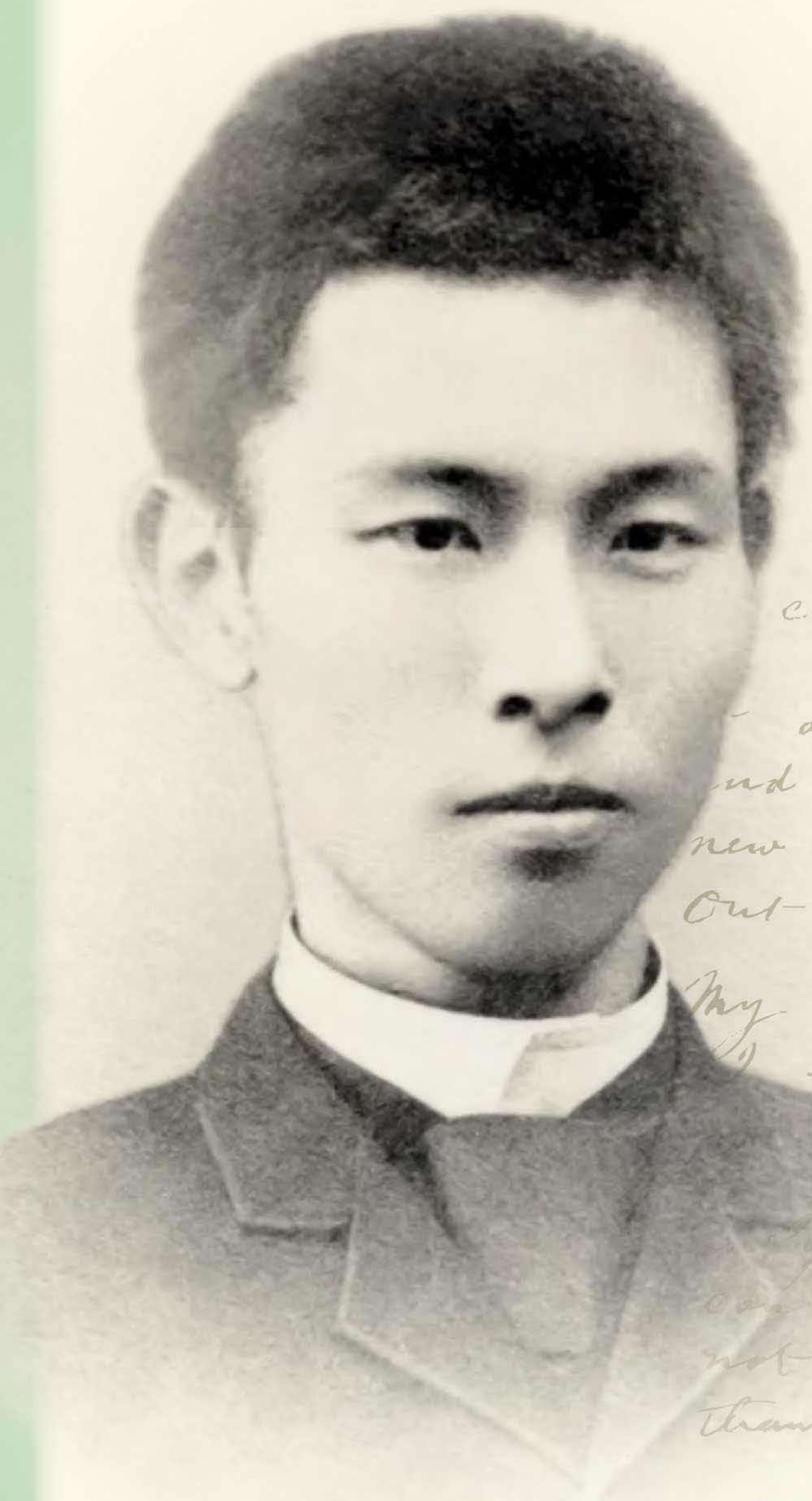
TO
NISHIDA SENTARO
IN DEAR REMEMBRANCE OF
IZUMO DAYS

SEP 25 2026—JUN 6 2027

LAFCADIO HEARN MEMORIAL MUSEUM

没後
130年

西田千太郎
出雲時代の
なつかしい
おもいでに



could not guess what
contain, hastily opened
- and found, to my pleasure
and surprise a very fine
new book entitled "Out of the East!"
My great joy - especially as
I have the honour of
something inscribed to me
your kind remembrance
- you ever told me - you
can only imagine. I do
not know what words
thank you with.

2026.9.25 FRI—2027.6.6 SUN



小泉八雲記念館

Lafcadio Hearn Memorial Museum

〒690-0872 島根県松江市奥谷町322 [電話] 0852-21-2147 [ファックス] 0852-21-2156 開館時間—[4-9月]9:00-18:00(受付終了17:30) [10-3月]9:00-17:00(受付終了16:30)

入館料—[大人]600円(団体480円、松江市民300円) [小・中学生]300円(団体240円、松江市民無料) 小泉八雲記念館・旧居2館共通券—[大人]800円 [小・中学生]400円(松江市民無料)

主催—小泉八雲記念館 共催—一般社団法人八雲会、松江市

協力—西田家、島根県立図書館、島根大学附属図書館 学術協力—宮澤文雄(島根大学法文学部准教授)

画像—西田千太郎 | 1894年1月 | 小泉家 • 西田からラフカディオ・ハーン(小泉八雲)宛書簡 | 1895年4月8日 | 天理大学附属天理図書館

IMAGE—Nishida Sentaro | Jan, 1894 | The Koizumi Family • Letter from Nishida to Lafcadio Hearn | Apr 8, 1895 | Tenri Central Library

最新情報はウェブサイト、SNSで
www.hearn-museum-matsue.jp



小泉八雲とセツが出会ったまち 松江

ハーンと 千太郎。 2人の出会いは 互いの人生を 彩った。



- CHAPTER 1 | The Life of Nishida Sentaro
- CHAPTER 2 | Passion and Conflict in Scholarship and Education
- CHAPTER 3 | A Fateful Encounter with Lafcadio Hearn
- CHAPTER 4 | A Struggle with Illness
- CHAPTER 5 | The Message Conveyed in His Last Will: Toward the Future

ラフカディオ・ハーンが心から信頼し慕った友、西田千太郎。

NHK連続テレビ小説「ばけばけ」でヘブンの友人錦織友二のモデルとして注目された西田千太郎とは、

どんな人物だったのでしょうか。

友人からは「大磐石」と呼ばれ、

わずか34年の短い生涯を駆け抜けた

千太郎の素顔に迫ります。

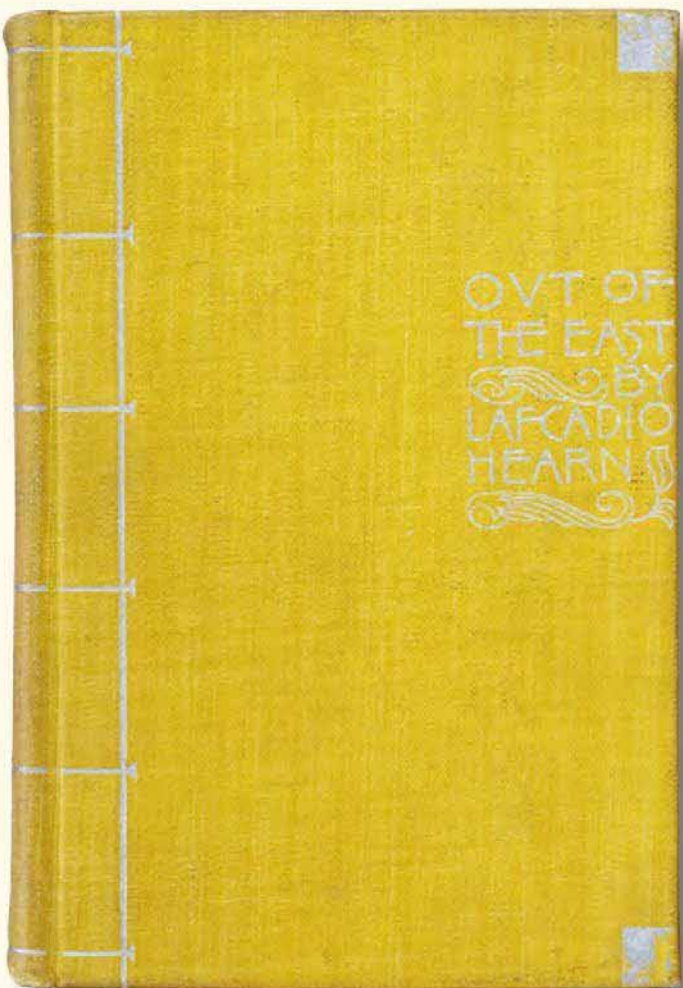
ハーンは来日2作目となる

『東の国から』を西田千太郎に捧げました。

「西田千太郎へ——出雲時代の

なつかしいおもいでに」

という献辞とともに。



- 1章 西田千太郎という生き方
- 2章 学問と教育に懸けた情熱と葛藤
- 3章 ラフカディオ・ハーンとの幸福な出会い
- 4章 病との闘いの果てに
- 5章 遺書に込められた想い——未来へ

Hearn and Nishida

A meeting that enriched two lives

Nishida Sentaro was a friend that Lafcadio Hearn trusted and loved dearly.

In the NHK television series “The Ghost Writer’s Wife” (*Bakebake*), Lafcadio Hearn’s dear friend Nishikori Yuichi is based on the historical figure of Nishida Sentaro. But what kind of person was he in real life? Known as “Daibanjaku” (“The Great Rock”) for his exceptional abilities, this exhibition explores Nishida’s brief but remarkable life of just thirty-four years.



- 1 | 西田千太郎 | 西田家
- 2 | ラフカディオ・ハーン(小泉八雲) | 小泉家
- 3 | ハーン『東の国から』 | ホートン・ミフリン社 | 1895年 | 小泉八雲記念館
- 4 | ハーンから千太郎への隠岐土産 アワビと黒曜石 | 小泉八雲記念館
- 5 | 西田千太郎日記 | 島根県立図書館
- 6 | 遺書 千太郎から妻クラへ | 西田家



「JR松江駅から」●ぐるっと松江レイクラインバス約16分「小泉八雲記念館前」下車●路線バス約14分「塩見縄手」下車、徒歩5分「二煙電車松江しんじ湖温泉駅」●徒歩約20分●専用駐車場はございませんので、最寄りの駐車場(有料)をご利用ください。

展示会情報とイベントの詳細は、随時ウェブサイト等でお知らせいたします。イベントは事前申し込みが必要です。参加受付は開催日の1か月前から。

西田千太郎没後130年イベント
2027年3月13日(土) 14時
会場 島根県立美術館ホール(松江市袖師町1-5)
ウオーキングツアー
千太郎と八雲の松江さんぽ。
4月4日(日) 10時-14時(予備日4月10日(土))

オープニングイベント
フロアトーク
2026年9月25日(金) ①11時 ②14時(各回約30分)
西田千太郎レクチャーシリーズ
会場 2階多目的スペース+ライブラリー
①ハーンと千太郎——手紙と日記を読み解く
講師 宮澤文雄氏(島根大学法文学部准教授)
②西田千太郎と明治の教育
講師 内田融氏(一般社団法人八雲会事務局長)
③西田千太郎が生きた時代背景
講師 新庄正典氏(松江歴史館主任学芸員)
④明治日本の医療と千太郎(仮)
講師 梶谷光弘氏(島根大学医学部特任教授)
⑤「神々の国の首都」の八雲と千太郎
講師 小泉凡館長